



PRESS RELEASE

<報道関係各位>

2015年12月9日
アディダス ジャパン株式会社

名工・三村仁司が4年をかけて開発した、勝つための保形メッシュアッパー搭載。

- 青山学院大学駅伝チーム着用モデル -

アディゼロ タクミ セン ブースト ツー

adidas 『adizero takumi sen boost 2』、

アディゼロ タクミ レン ブースト ツー

『adizero takumi ren boost 2』1月15日(金)発売

<http://shop.adidas.jp/running/takumi/>



マルチスポーツブランドのアディダス ジャパン株式会社(本社:東京都港区、代表取締役: ポール・ハーディスティ)は、アディダス専属ランニングアドバイザー三村仁司(みむらひとし)氏と共同開発を行い、昨年、多くの日本人ランナーの記録更新に貢献したモデルの新作、シリアスランナー向けレーシングモデル adizero takumi sen boost 2(アディゼロ タクミ セン ブースト ツー)とシリアスランナー向けトレーニングモデル adizero takumi ren boost 2(アディゼロ タクミ レン ブースト ツー)の2種類のランニングシューズを、2016年1月15日(金)より販売開始します。

三村仁司氏がおよそ4年をかけて開発した「Mim-lite MESH X(ミムライト メッシュ クロス)」

「日本選手を世界で勝てるように強くしたい」。その想いを胸に三村氏がおよそ4年の歳月をかけ、総力をあげて開発したメッシュ「Mim-lite MESH X(ミムライト メッシュ クロス)」が完成しました。

今回メッシュの開発に力を入れた最大の理由は、BOOST™フォーム(*1)のパフォーマンスの最大化を目論んだことにあります。BOOST™フォームの反発性を無駄なく推進力に変えるためには、従来の重量、対摩耗性、通気性以上に「保形性」が必要不可欠なものの、既存の素材では、しなやかさ、軽量性、通気性を保つことが出来ませんでした。

それを解決するために開発されたのが、BOOST™フォームの完成とほぼ同時期に開発を着手し、2016年によろやく商品化をむかえる、中間層クロス構造メッシュ「Mim-lite MESH X」です。ダブルラッセル構造によりしっかり立ち上がった中間層が、3次元フォルムの復元性と通気層を担保し、それは同時に、走行中のシューズの形状変化にも柔軟に対応する安定したフィッティングを実現しました。

足当たりの良さが大幅に向上し、履いた瞬間から最後の一步までフィット感が持続します。長距離を走るランナーだからこそ陥りやすい、シューズ内の“足の遊び”による不十分な力の伝達やトラブルを防ぐこのモデルは、ランナーを勝利へと導きます。

開発にあたり、三村仁司氏はこう述べています。

「『前のものより必ず良いものを作る』これが私の基本になっていますので、今回の素材開発では、何度も、何度も試作

品を作った上で、測定したデータやサンプルを触り、ようやく納得出来る新素材にたどり着きました。靴には、通気性・軽さ・伸び・フィット感という重要な要素がありますが、どれが一番という事なく、ランナーにとっては全て大事です。この全てを叶える素材づくりを目指して、開発段階では、試行錯誤を繰り返しましたが、自分の感覚をたよりに、良いと思ったことを妥協せず信じて開発作業を続けました。その結果、自分の中でも納得できるメッシュ素材が完成しました。特にこのシューズは『フィットがいいな』という感じが長く続きます。つかれにくい、故障しにくい、走りやすいと感じてもらえると思いますので、多くの日本人ランナーの方に履いて欲しい一足です。』

■日本人ランナーを速くするために-adizero takumi の誕生-

現代の名工、アディダス専属アドバイザー三村 仁司氏と“日本人を速くするために”をコンセプトに共同開発してきた adizero takumi は、2012年の発売以来、数多くのエリート アスリートのレースシーンを支えてきました。2014年9月に開催されたベルリンマラソンでは、デニス・キメット選手(ケニア)が BOOST™ フォーム搭載の adizero Japan boost 2 を着用し、2時間2分57秒の世界新記録を樹立。BOOST™ フォームのパフォーマンスの高さが世界に証明された翌年、初めて adizero takumi シリーズに BOOST™ フォームを搭載した adizero takumi sen boost を着用した青山学院大学 駅伝チームが活躍をみせるなど、「adizero takumi」はアスリートの挑戦と勝利を足下から力強くサポートする、まさに職人三村氏の知恵と技が詰まったシリーズです。

◇ 4代目 adizero takumi 製品特徴

■ 安定したフィット感を実現。開発期間およそ4年の勝つ為の新素材アッパー「Mim-lite MESH X」

アッパーには三村氏がおよそ4年をかけて独自開発した保形性の高いメッシュ「Mim-lite MESH X」を使用。現在の adizero takumi sen boost と比較して、通気性、フィット感が格段に向上し、前作と比較して更なる軽量化を実現。足の可動域にあわせた適度な伸び止め、また、元の形状を維持する力が増したことで、使い込んでも崩れにくく、走る間も通気性を継続的に維持することから、まさにパートナーと呼べる1足に仕上がりました。

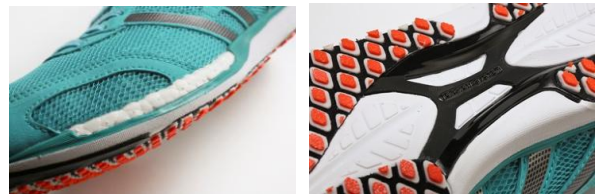


■日本人ランナーの足型に3Dでフィットする『micro FIT (マイクロフィット)レーシング ラスト』

日本人のために開発された3D形状の『micro FIT レーシングラスト<足型>』とヒールモールドは前作同様に採用、前足部から踵までぶれないフィット感を提供します。また踵部分の補強を薄型のTPU(*2)を用い熱圧着し、ヒールカウンターのエッジをスカイビング加工したことに加え、薄素材を使用し縫製を排除したことで、ヒールカウンター周りにも足当りがよく高いフィット感を実現しています。

■スピードアップを実現する BOOST™ フォーム搭載

フォア・ミッドフット走法(前足部～中足部)で接地するトップランナーのためのミッドソールには、前作同様『高反発性能』を誇る BOOST™ フォームを小指の付根から前足部に搭載。加重と蹴り出しを推進力に、よりスピードを生み出す構造に設計しています。



また、前足部から後足部に配置された torsion system(*3) (トルション システム)が、スピードランナーのプロネーション(足裏のねじれ運動)を制御し、着地の安定感とコントロール性能を向上させています。

■グリップ性能の追求

アウトソール前足部には、『コンチネンタルラバー』を採用。濡れた路面で約39%、乾いた路面で約32%(当社比)向上させたグリップ性能により推進をサポートし、日本人の足にあった『Dual Stencil Process quickstrike(*4)』は、トレッド(独立した接地面部分)の耐久性、耐摩耗性に加え、強いしなやかな蹴り出しや、軽量性、そしてグリップ性能の向上を実現しています。踵部分には優れた耐摩耗性を誇る adiWEAR を採用することでソール寿命を高めました。



*1. 構想から商品化まで約8年。ドイツに拠点を置く化学会社である、アディダスのテクノロジー パートナー-BASF(ビーエーエスエフ)社と共同開発したミッドソール素材。主な機能として、単一素材で高次元の相反する衝撃吸収性と反発性を併せ持ち、高い耐久性と耐温性を誇る。
※[自社研究機関 adidas Innovation Team 調べ。]

*2. Thermoplastic Polyurethane(熱可塑性ポリウレタンエラストマー)

*3. 1989年に初めて採用されたプロネーションを制御する機能

*4. ウレタン樹脂を突起上に成形した分割配列形状のアウトソール

【商品情報】

- 商品名: adizero takumi sen boost 2 (アディゼロ タクミ セン ブースト ツー)
adizero takumi ren boost 2 (アディゼロ タクミ レン ブースト ツー)
adizero takumi ren boost 2 Wide (アディゼロ タクミ レン ブースト ツー ワイド)
adizero takumi ren boost 2 W (アディゼロ タクミ レン ブースト ツー ウィメンズ)

- URL: <http://shop.adidas.jp/running/takumi/>

■ adizero takumi sen boost 2 「駅伝、サブ3ランナー向けレーシングモデル」

- 展開カラー: AF4019: ショックグリーン S16/コアブラック/ブルーグロー S16
AF4020: スーパーパープル S16/コアブラック/セミソーラーライム
AF4021: クリアオニックス/コアブラック/ビスタグレイ S15
- サイズ: ユニセックス: 22.0cm~30.0cm
- 高低差: 6mm
- シューズ片足重量: 約 170g(27cm)
- 発売日: 2016年1月15日
- 自店販売価格: ¥16,500(税別)

■ adizero takumi ren boost 2 / adizero takumi ren boost 2 Wide / adizero takumi ren boost 2 W

「"sen"より踵のクッション性を向上させ、コンチネンタルラバーと後足部の耐摩耗性ラバーを大型化した、エリートランナー向けトレーニングモデル、サブ3.5ランナー向けレーシングモデル。」

- 展開カラー: AF4042: FTWR ホワイト/コアブラック/ショックグリーン S16
AF4043: スーパーパープル S16/コアブラック/FTWR ホワイト
AF4037: FTWR ホワイト/コアブラック/パープルグローS16(W)
AF4036: FTWR ホワイト/コアブラック/プリズムブルーF13(W)
AF4041: クリアオニックス/コアブラック/ソーラーレッド(Wide)
- サイズ: メンズ: 24.5cm~30.0cm、ウィメンズ: 22.0cm~26.0cm、ワイド: 24.5~30.0cm
- 高低差: 9mm
- シューズ片足重量: 約 195g(27cm)
- 発売日: 2016年1月15日
- 自店販売価格: ¥15,500(税別)

- 取扱い店舗: 全国のアディダス直営店(<http://www.adidas.jp/shop/>)、
アディダス オンラインショップ(<http://shop.adidas.jp/running/takumi/>)、
adidas RUNBASE(<http://adidas.jp/running/runbase/>)、
アディダス取扱店(一部店舗除く)

◎商品イメージ

■ adizero takumi sen boost 2



品番: AF4019
カラー:
ショックグリーン S16/
コアブラック/
ブルーグロー S16

■ adizero takumi ren boost 2



品番: AF4042
カラー:
FTWR ホワイト/
コアブラック/
ショックグリーン S16

©2015 adidas Japan K.K. adidas and the 3-Stripes mark are trademarks of the adidas Group.

＜一般のお客様からのお問い合わせ先＞
アディダスグループお客様窓口 Tel : 0570-033-033 (土日祝除く、9:30~18:00)